

令和2年度花巻市社会教育委員会議 会議録

開催日時 令和2年7月28日(火) 午後2時00分～午後4時00分

開催場所 花巻市役所本庁舎 3階 委員会室

出席者 委員出席者18名 菊池豊議長、堀合範子副議長、横手勝美氏、佐藤敦士氏、福盛田弘氏、伊藤昇氏、藤田甲之助氏、久保田廣美氏、菊池朋子氏、高橋英明氏、大原健氏、小国朋身氏、久慈孝氏、伊藤晴二氏、菊池清氏、佐々木繁夫氏、吉水香教氏、藤井輝雄氏
委員欠席者2名 浅沼由美子氏、佐々木さつき氏
事務局 5名 市川生涯学習部長、佐々木生涯学習課長、小原生涯学習課長補佐、菊池生涯学習係長、中村主任
説明者 1名 畠山市民生活総合相談センター所長

報道機関 1社 岩手日日新聞社

傍聴者 0名

- 次 第
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 委員紹介
 - 4 議長、副議長選出
 - 5 議題
 - (1) 令和2年度事業実施計画等について
 - (2) 第3期花巻市教育振興基本計画について
 - (3) 新花巻図書館の整備について
 - (4) その他
 - 6 その他
 - 7 閉会

1 開会 (開会 午後2時00分)

事務局(小原補佐) 皆様ご苦労さまでございます。時間前ですが、お揃いになりましたので、次第に沿って進めさせていただきます。

開会に先立ちまして、本会議の成立についてご報告いたします。お配りしております委員名簿をご覧ください。5番の浅沼由美子さん、17番の佐々木さつきさんより御欠席の報告をいただいております。本日は、社会教育委員20名のうち、18名のご出席をいただいておりますので、花巻市社会教育委員会議運営規則第7条の規定により、半数以上の委員が出席しており

ますので、会議は成立しておりますことを御報告いたします。

それでは、ただいまより令和2年度第1回花巻市社会教育委員会会議を開会いたします。

初めに、市川生涯学習部長より御挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

事務局（市川部長）

皆さんこんにちは。今日はお忙しいところ、また、このような天気のところ御出席をいただきまして、大変ありがとうございます。また、今回社会教育委員としてお願いするにあたりまして、快くお引き受けいただきましたことに大変感謝申し上げます。

コロナウイルスの関係で社会教育、各種事業、広い意味で芸術文化活動、また、スポーツ、各種講座等ができないという状況になっておりました。今月ぐらいから、少しずつ会議室の定員の半分とか、2メートル離れてとか、そういう形で色々な事業はやりつつあるのですが、どうしてもスタートが遅れたという状況になっておまして、また、全国的にも第2波と言われているような状況で、予定どおり事業を今後進めていけるかというようなところでございまして、それらを見ながら今シーズンは全く今までと同じことができないという状況で、手探りで事業をやっているというようなことでございます。そのような中で、今シーズンの事業等、また、教育振興計画をこれから立ててまいりますので、それらにつきまして、御意見を賜りたいと思っておりますし、新しい図書館につきましても、コロナの影響でなかなか説明会なども開けない中で、ワークショップを開いていくような事業もやっておりますので、状況を説明してまいりたいと思っております。皆様方の御意見を踏まえまして、よりよい事業をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

3 委員紹介

事務局（小原補佐）

続きまして、委員の皆様の御紹介をさせていただきます。お手元の名簿をご覧ください。大変恐縮ではございますが、名簿順に自己紹介ということでお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染防止として、席を従来と変更して配置しております。お顔が見えづらいかと思いますが、御了承いただいております。それでは、よろしく願いいたします。

（委員の自己紹介及び事務局職員の自己紹介）

4 議長、副議長選出

事務局（小原補佐）

議長・副議長の選出は花巻市社会教育委員運営規則の第6条の規定により委員の互選。

事務局一任との声があり、事務局案として議長に菊池豊委員、副議長に堀合範子委員を提示。

委員一同 異議なし。

事務局（小原補佐） それでは、菊池議長様、堀合副議長様よりそれぞれ御挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

菊池議長 先ほど自己紹介いたしました富士大学の菊池豊と申します。よろしくお願いいたします。生涯学習ということで、先ほど部長からもお話があったように、コロナウイルスの状況でできないという状況が続いていると思います。それをいかに推進していくかということについて、ご意見を伺いながら推進できればというふうに思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

堀合副議長 堀合範子と申します。皆様の御協力により務めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

5 議題

事務局（小原補佐） ありがとうございます。それでは、よろしくお願いいたします。
それでは、5番の議題に入りますが、これより議事の進行につきましては菊池議長にお願いいたします。

菊池議長 それでは、5番の議題に移りたいと思います。（1）令和2年度事業実施計画等について、事務局お願いします。

事務局（佐々木課長） 崑山所長
ご説明申し上げます前に1点資料の訂正をお願いいたします。A3の資料1-1の1ページ目、令和2年度の事業計画の下から5行目 花巻・遠野連携事業を「新規」としてありますが、昨年度の新規事業でありますので、2年度は削除願います。

それでは次第の4、議題の（1）花巻市生涯学習振興計画にかかる令和2年度の主な事業の計画についてご説明申し上げます。令和元年度の事業実施状況もあわせてごらんください。

1、生涯学習機会の充実の基本施策（1）多様なライフスタイルに応じた講座の開設であります。

当市では、主な事業としまして、

生涯学習課のほか、市内4地区で開催している、各市民講座、高齢者を対象とした講座、いわゆる高齢者学級、まなび学園で実施しているものはシニア大学と呼んでおります。それから女性を対象とした講座であります、女性学級などを実施しております。

それから、生涯学習課の事業として、宮沢賢治について学ぶ機会を提供する「はなまき賢治セミナー」、岩手大学教育学部出前講座、富士大学花巻市民セミナーなどを例年実施しております。

令和元年度の開催実績は資料のとおりですので、御覧いただいたいと存じます。

令和2年度の主な事業計画ですが、市民講座は生涯学習課では9講座39回、各総合支所では14講座、50回を予定しております。

主な事業の内容をご説明いたします。

はなまき賢治セミナーは、昨年度はゆったり体験編とじっくり講義編と称しまして、体験を取り入れたプログラムを入れて新規参加者を見込んでおりましたが、今年度はさらに踏み混んで、わくわく初級編、じっくり中級編と称しまして、実施しております。初級編では、小学生親子の参加を対象とし、講座の目的である「賢治さんを語れる市民を育む」機会をより幼少期から、また親子で、賢治に関心を持ってもらう機会を作ることを意図して取り組むこととしております。また中級編でも従来からの座学を中心としたものから、フィールドワークを取り入れ、より親しみやすいものとするものであります。

また、今年度の富士大学花巻市民セミナーの共通テーマは「私たちの社会の課題を考える ―コロナ禍を契機として―」と題しまして、6回の講義の内容について、今まさに現代社会が抱える問題を共通の視点で捉えられる内容としております。

いずれの講座につきましても、新型コロナウイルスの影響により、5月までに予定した講座は実施できませんでしたし、今後またさらなる影響が出た場合には、予定の講座が開催できなくなる場合も想定しつつ、6月以降、現在はなんとか各講座を実施している状況であります。

(2) 自主的・主体的学習活動の支援・相談体制の充実であります、

(1) でご紹介した市民対象の講座のほかに、各地区や、サークル等より小さな活動単位での生涯学習を推進するため、生涯学習講師を委嘱し、講師が各地区などに出向き講座を行うものに市が支援しております。生涯学習講師は若干高齢化が進んでいる状況になりつつあり、引退される方も少なからずおりますが、一方で今年度は4名の新規講師に登録いただき活動いただいております。

また、生涯学習フェア、まなび学園祭につきましては、例年多数の人数を集めての基調講演なども実施しては、今年度花巻まつりほか、3地区の夏、秋祭りが中止となったほか、イーハトーブフォーラムや童話村フェスティバル等の主だったイベントが開催できない状況になっている状況に鑑み、また講演等を実施すると3蜜が避けられない、まなび学園でのシニア大学や各団体の活動が6月以降になっている等の状況から考えま

すと、開催が難しいのではないかと考えて現在検討を進めているところ
あります。その他の事業につきましては、資料のとおりであります。

(3) 情報発信の強化であります、「はなまきまなびガイド」「はなま
きナビ」等例年通り活用するほか、広報ホームページSNSなどを活用し
情報発信に努めております。

(4) の生涯学習関連施設の充実・利用促進であります、今年度はまな
び学園の外壁塗装等の大規模改修工事を利用を休止せずに行っていくこと
としております。

2 青少年の健全育成推進であります、

(1) の青少年活動の推進として、今年度もはなまきおもしろ探検隊実施
することとし、5回の講座を予定しておりますが、今年度は開催会場と人
数を検討した結果、従来より定員を少なくし各学年5名を上限にし、募集
しております。

また成人式についてですが、これも密を回避するためと換気の確保のため
に、開催会場を見直すこと（文化会館から総合体育館に）の検討を進めて
おります。

(2) の青少年の非行防止についてであります、少年補導委員の活動に
つきましては、時期を遅くしておりますが、6月から補導活動を開始して
おります。

3 国際交流の推進であります、

(1) 国際交流事業の推進のうち、青少年海外派遣研修事業につきま
しては、各姉妹友好都市等に派遣及び受入れを予定しておりますが、やはりコ
ロナの影響が各国ともありますことから、事業を共に実施しております、
国際交流協会とも協議のうえ、現時点においては、9月に派遣・受入れ実
施の可否を検討することとしております。

(2) 国内交流事業の推進であります、こちらもコロナの影響で実施を
見合わせている事業がありまして、現在のところ十和田市への市民ツアー
のみ実施について検討を進めている状況であります。

なお、資料1-2に成果指標をお示ししております。これらの指標のう
ち、日頃生涯学習に取り組んでいる市民の割合、国際交流に関心のある市
民の割合とも数値を下げております。この成果指標につきましては、例年
市民アンケートから集計しておりますが、アンケート実施時期が今年度4
月20日から5月22日に集計しており、ちょうど緊急事態宣言が発令さ
れた時期と重なりますことから、生涯学習や国際交流どころではない、と
いった風潮が広まっていたからではないかと推察されます。今後社会が平
常化されてこの数値が再び高まることを期待するものであります。以上で、
実施計画のご説明を終わります。

菊池議長 それでは、1. 生涯学習機会の充実、それから2. 青少年の健全育成の推進、3. 国際交流の推進の3つに分けて進めていきたいというふうに思います。まず1. 生涯学習機会の充実ということで、(1) 多様なニーズ・ライフスタイルに応じた講座の開設という項目で何か質問がありましたら。

伊藤委員 富士大学の花巻市民セミナーについてですが、広報に載って私も参加しましたけれども、一般市民はお断りしますと言われました。確かに見ると、一般市民の方がいつも多いんですけども、今年は私1人か2人程度だったので、その点がどうしてなのかなど。もちろんコロナの関係だと思いますが、もっと事前に知らせていただきたいと思うし、間隔を空けたり入場制限をしたりすれば、本当はできるはずと思うのですが、そのあたりについて分かる範囲で結構ですから、お願いしたいと思います。

菊池議長 では、事務局。

事務局
(佐々木課
長) もう一度お聞きしますけれども、昨年度のセミナーの関係でということでしょうか。

伊藤委員 今年度です。

事務局
(佐々木課
長) 今年度の富士大学花巻市民セミナーにつきましては、10月から開催するというので、今後広報のほうで募集していくような形をとりますので、今年度ではないような気がしておりますけれども。

伊藤委員 見間違いかもしれませんので、すいませんけれども、例年だといつも結構いっぱい一般市民の方が来ているんですよね。

事務局
(佐々木課
長) そうですね。ということもございまして、なるべく応募いただいた方については参加いただきたいという考えておりますが、会場の関係でやはり人数が制限されるということも今後出てくるかなというふうに考えてございます。

菊池議長 他にございますか。

藤井委員 令和2年度の主な事業計画の方で、年度当初に計画したためかどうかわかりませんが、令和元年度の開催回数より多いものが結構あり、特

に、高齢者学級の関係は、187回に対して225回。どういったわけで、こうなるのかというのをちょっとお聞かせいただければなど。

菊池議長 開催が多くなった理由について。

事務局 (佐々木課長) まず、令和元年度の開催が少なくなったというのがございまして、高齢者学級について、まなびでやっているシニア大学もそうなんですけれども、年度後半のものができなかったという部分がありましたので、開催がまず少なくなってるというのが一つあります。

それと、あくまでも予定で今年度については記載しておりまして、確かに4月から開催するという予定ではありましたが、これについて、6月以降からの開催ということになりますので、実際の実績としては少なくなるのではないかと考えてございます。以上でございます。

菊池議長 そうすると、昨年度末のコロナで実際は少なかったということですね。

事務局 (佐々木課長) あまり今年度と回数は変わらないはずだったんですけれども、回数として実績が少なくなっているという状況でございました。これはあくまでも今年度の予定ということでしたので、既に4月、5月開催分については見送っている部分がありますので、実績としては少なくなると見込まれるものであります。

菊池議長 他、ございますか。今年度分は人数制限はかかっているのですか。

事務局 (佐々木課長) 高齢者の関係とかにつきましては、会場を広くしたりとか、そういった形で対応していますので、例えば、入学式とかでは全員集まるようなものを避けるといった形で進めておりますので、振興センター等でやっている講座につきましては、会場の関係で人数制限される部分もあるのかなと考えてございます。あとは会場を大きくしたりとか、そういったところで対応するというように進めております。

菊池議長 いろいろ対策を講じて実施ということでよろしいですね。他、御意見ありますか。では、1番はよろしいですか。それでは(2)の自発的・主体的学習活動の方に入ります。

佐々木委員 前も話したと思いますが、地域生涯学習担当者研修はとてもいいと思います。やはりコミュニティ会議のスキルアップはとてもいいことだと思います。昨年度、どんな内容をして、受けた人たちはどんな感想を持ったかということと、今年度はどんな内容のものをしようとしているのか、簡単でいいですから、聞かせてください。

事務局（菊池係長）

それでは地域生涯学習担当者研修ということで、昨年度の内容等を御紹介したいと思います。3回開催してございますが、対象者は、地域コミュニティの担当者とか、事務局の方を対象とした事業ということになっております。1回目実施しましたのは、実際の講座を受けてみようというようなものを開催しまして、おにぎり講座というのを模擬体験するというような内容のものを実施いたしました。模擬体験というのは、地域コミュニティの生涯学習担当をする人が受講生になって、受講生の気持ちになって受講してみたらどういふことを感じるか、実際こういうふうに参加者が体験してるんだなというのを感じ取ってもらうという研修を1回目に行っております。2回目といたしましては、ワークショップを開催しております。ワークショップの内容としましては、地域コミュニティと、それから我々生涯学習課の職員、あるいはまなび学園の職員、それぞれが連携して行える事業を考えるというワークショップを考えてみました。コミュニティ会議は各地区で事業をしているわけですが、例えば花北振興センターと松園振興センター、2つかけ合わせた事業を考えたらどうなのか、あるいは花北振興センターと生涯学習課がコラボしてみたらどうなるかというのを、ワークショップで考えて、いろいろな事業を出してみたということをやっております。それから3回目には講演になりますけども、結学舎というところの似内さんという方を講師に招いて、最近の生涯学習のトレンドというような内容の講座を開催しております。

参加者の感想ですが、コミュニティ会議それぞれで活動状況が違っておりますので、回によって違うわけなんですけども、1回目のほうにつきましては、やはり自分で体験するというのはなかなかないということなので、参加者の気持ち、こういう感じだなというのがわかったというような感想が多かったと思います。それから2回目のワークショップにつきましても、市内の生涯学習担当者が一堂に会する機会というのはなかなかないので、コラボレーションした事業を考えるというのはなかなかない機会だったということで、こちらのほうも非常に貴重だったということをお願いしております。3回目につきましても、生涯学習のトレンドということでしたが、こういった内容のことまでやっていいんだというようなところまでお話していただきましたので、そういった部分に影響を受けて帰られた方が多かったのかなというふうに感じております。以上です。

佐々木委員

とてもいいことを聞きました。ただ、去年の12月に全国社会教育研究大会というものがあるのですが、東北大会、公民館大会を兼ねて、東北地区は大体毎年持ち回りで、今年は10月に秋田市でやる予定ですが、去年は盛岡で行ったので参加したのですが、今聞いたようなスキルアップ研修もとても大事ですが、やはり現場の実践者の話はかなり説得力があって、私も実際参加したのですが、素晴らしいです。ですから、毎年は無理でも、3

年に1回とか、東北レベルの研修会に参加することもとてもいいことだと強く感じております。資料等は、花巻の県立生涯学習推進センターにもあると思いますので、ぜひそういうものを毎年は無理でも、あるいはわたしたちの研修でもいいと思いますが参加したらいいのではと。お願いします。

事務局 承知いたしました。今年度についてはこういう関係もありまして、そういった大会が中止になってるというふうにお聞きしておりますので、来年度以降、機会をつくれればというふうに考えております。よろしく願い
(佐々木課長) いたします。

菊池議長 さて、2番のところはよろしいでしょうか。それでは、御意見等がある場合はまた後でお願いします。それでは(3)情報発信の強化、(4)生涯学習関連施設の充実・利用促進という、この2つについてお願いします。

なかなか情報発信は難しいですよ。色々な手を使っても参加者を増やすというのは至難の業で、資料を見ても、どのような方法をとということになると、やはり広報とか、あとはホームページとかを使ってやっているということなのですが、口コミが意外と効果ありますよね。何か情報発信についてこのような例がありますとか、御意見がありましたらお願いしたいと思います。

一番効果があるのはやはり市の広報ですか。

事務局 そうですね、広報がいわゆるプッシュ型といいますか、各世帯に届くというものですので、内容を充実させることによって見ていただけるのかな
(佐々木課長) と思っております。

菊池議長 何かいいアイデアがありましたら。このような情報の発信の仕方をすれば、参加者が多くなるんじゃないかとか、興味を持つものが多いんじゃないかとかってというようなものがあれば。

FM放送がありますよね。あれは花巻市でどれぐらい視聴しているんでしょうね。災害時には情報を得やすいかなと思うんですけども。

事務局 FMにつきましては、花巻市で設置しているというものでありますので、
(佐々木課長) 力を入れておりまして、いろいろな事業について当市の番組をつくって放送していただいているという状況はありますが、どれほどの方が聞いているかとなるとちょっとなかなか掴みかねるものがあるかなと考えております。

菊池議長 藤田委員、何かありますか。

藤田委員 ここに、マスコミへの情報提供という文言があると思って見ていたんで

すけど、そもそも今、流行りの言葉で言うと「バズる」という言葉があっただけに注目されるかっていう意味で、平成28年から32年までの5年計画っていうところだったんですけど、計画期間を見ると必要に応じて見直しますっていうことなんだけれども、その事業自体に、まずちょっとはつきり言って魅力とか発信ってというのが、今の社会情勢とかに合致しているのかなって。マスコミは、タイムリーで、今の情勢に合致すると絶対取り上げてくれますので、そういった意味では発信方法よりも、その事業計画の部分的なところを、見直すっていうことも大事なのかなと思います。あとよく言われるのは、ホームページは置物で、SNSは生物（なまもの）と言われ、いかにどんどん流していくかっていう無料で使えるコンテンツであるので、その辺は本当に市役所の、皆さますごく頑張っておられるなというふうには感じてるんですけども。事業の中身と検証結果もすばらしくやっているので、徐々にこう合わせていくような中身にしていくと、もっと、情報が発信されるのかなというふうに思っていました。以上です。

事務局（菊池係長）

情報発信というところでですね、さまざまな何かアイデアということで、SNSの基本とかというお話もいただきましたけども、昨年、さらにもう一昨年ぐらい前からなんですけど、実は生涯学習課で、実験的な事業をやってみようということも取り組んでおまして、そのとおり広報紙がもちろん市民全員の皆さんにお知らせするには最も適しているわけなんですけど、そのほかに、広報紙に頼らない方法でもやってみようということを考えて実施したものもございまして、ちょっと紹介したいと思います。

広報紙に頼らないでという方法なんですけど、対象を若者に限定する、そして、場所をまなび学園でないところでやってみる、それから街中でやってみるとかっていう形です。全く今までの発想とか合わないかもしれないんですけども、実験的にこういった講座を開いたらどうなるかっていうのを考えまして、チラシもこれまでの市役所でつくったようなチラシではなくて、これはどこで企画したんだろうってというのがわからないぐらいのチラシとかをつくって、花巻駅であったりとか、大通りの喫茶店であったりとか、そういったところに設置をしながら参加者を募集したという事業もございまして。実際、こういった形で参加者を絞って、これまでとは全く違う内容でという形でやってみましたところ、実際15名の定員のところ、2つの事業やったわけなんですけど、どちらも定員いっぱい申し込みをいただいたと。そして、今まで参加してきた人ではなくて、初めて見るような人たちもたくさん参加してもらったという事例もあります。ですので、情報発信をいろいろ工夫しながらやっていけば、これはいろんな方法で、見たことがない参加者にも参加してもらえるのかなということも勉強し始めています。こちらの計画とか実施状況には書いてないわけなんですけども、そういったことも、生涯学習課のほうで、昨年ぐらいからやっている

ということでございます。以上です。

菊池議長 そういった取り組みもやっているということで、今後、参加者が増えればいいだろうと思いますね。あとは事業の魅力というのが出てきましたので、その中身の検討も併せてお願いできればいいのかなと思います。

それから（４）施設の充実・利用促進についてなんですが、この辺は何かありますか。

今、まなび学園の外壁工事をしていると。

事務局
(佐々木課長) 今年度やることで今進めております。

菊池議長 あれも古いですよ。

事務局
(佐々木課長) 花巻南高校だったところですので、古いですね。大規模改修も含め、随時修繕をしながら、長寿命化ということで進めているという状況です。

菊池議長 もう耐震はやってるんですよ。

事務局
(佐々木課長) 耐震施設にはなっております。

菊池議長 あとほかの施設は意外と新しいんですか。石鳥谷とか。

事務局
(佐々木課長) 石鳥谷も新しくはないですが、これも改修しながら進めているということです。

菊池議長 それでは、続いて２．青少年の健全育成の推進についてということで、（１）（２）についてお願いします。

堀合副議長 成人式も３つの密を避けるために会場を変更しようと思っているということですが、大人数の該当者なわけですがどのへんを考えてらっしゃるのでしょうか。

事務局
(佐々木課長) 今検討に上がっておりますのが、総合体育館の第３アリーナ、ちょっと前にですね、大相撲とかをやったところなんですけれども、あそこですと、

長) アリーナのほうにある程度成人者のいすの間隔をあけることができますし、いわゆる保護者の方とか、そういった方につきましてはアリーナ席のほうで対応できるかなというところで、今検討を始めたところであります。

菊池議長 他にありますか。
ガールスカウトについても載っていますが、その辺について何かありますか。

菊池委員 初めて参加するので、発言は控えようと思ってましたが、ちょっと頑張って言ってみたいと思います。支援もいただいております本当にありがとうございます。ちょうどおとといですね、平塚の森で、通常であればいつも2泊3日でキャンプをするんですが、コロナの影響で、日帰りでキャンプを10時から6時半まで開催してきました。とてもきれいに整備されていて、指導員の方にも本当にいつも御支援いただいて、大変助かっております。私去年行かなかったんで、その前に改修したのかもしれませんが、少し離れたところに野外ステージがあります。そのステージがですね、だいぶ前に行ったときは大分ぼろぼろになってたんですがそこが改修されてたので、とても気持ちよく子どもたちが活動することができました。ただ今年、友好都市の交流キャンプは中止ですよ。あそこマムシも出るので、ちょっと草が結構奥のほうは生い茂ってまして、奥の散策する道も倒木もありまして、でもそれはそれで自然を歩くってということで本当に子どもたちと楽しくぐりながら歩いたんですが、今年交流キャンプがないということで、設備の整備が手薄にならないことをお願いしたいなと思って、一昨日行ってまいりました。どうぞよろしくお願いします。

菊池議長 ちょっとマムシが心配ですね。

事務局 (佐々木課長) 実は、花巻おもしろ探検隊のほうでも、交流の森を使うということで今進めておりまして、その際には確認をしていきたいと思っております。以上でございます。

菊池議長 (2) 青少年の非行防止についていかがでしょうか。

佐藤委員 青少年の非行防止でありますけれども、その点については本当に皆様方の御協力、御理解をいただきまして、子どもたちは健全に育てていただいているんじゃないかなというふうに思います。今、細かい一つ一つの事業については私久しぶりに花巻に戻ってきたものなので、ちょっと発言を控えようと思ってまして、全体を通しての部分でまた後ほど発言をさせていただきたいと思っております。

菊池議長 各まつりとか、そういった行事がなくなってきてますから、その辺も、昨年とは随分違うんだなと思うんですね。

畠山所長 少年補導活動ですけれども、お祭りとかがなくても毎月1回か2回補導活動を行っております、ただ今年はコロナの関係もあって、4月5月はお休みしておりましたけども6月から補導活動を行っておりますし、また愛の一声運動ということで、子供たちに声かけをして見守りに重点を置いて活動しているところでございます。

佐々木委員 情報です。花巻市青少年育成市民会議に関わっている者ですけれども、もう30年くらいになっているのですが、わたしも20年くらい関わっているのですが、市民会議の大人が15人、高校生がほしい10人くらいなんですけど、今年度は中止になりました。ただ、去年ですね、高校生が前面に立ちながらやってみたんですが、教えると自主的に動いて、わたしから見ても見事な進行ぶりでした。進行から、運営から、裏方は大人がやりますけれども、結構高校生も一生懸命動いて、教えればかなり主体的に動いたという感想です。子どもたちは市内の小学生を集めて行いました。

菊池議長 それでは、3. 国際交流の推進について、(1) (2) 合わせて聞いていきたいと思えます。
国際交流について、吉水委員いかがでしょうか。

吉水委員 今年度、コロナの関係で相互交流ができるかどうかというところには来てますけども、長年交流している都市でもあるので、来年度になるか今年度交流できるかわからないですけども、進めていければなと思っております。

姉妹都市のラットランドに関しては来年が35周年の周年事業ということで、あちらから市民の方々が花巻にいらっしゃるといことになるかと思うのですが、これもまた、市の方々と国際交流協会の方々と進めてまいりたいなと思っておりますし、また、市民の国際交流に関する意識がとても高いなというのは先ほどアンケートで見ました。市民の方々が気軽に国際交流に触れる機会ができるような、生涯学習などいろいろな面でお手伝いできればなというふうに思っております。以上でございます。

菊池議長 他、国際交流について何かございますか。
今年度はなかなか難しいということですね。

事務局 外国との行き来が今できないという状況が1番大きくてですね、そういった意味で、一応、9月まで実際に派遣受け入れができるかというところを、情勢を見きわめるっていうことでありますけれども、行き来が可能な

いという状況がいつまで続くかわからないということもありますので、なかなか今年度については難しいのかなと。加えまして、先日ですね、県内の国際交流の関係の各市の会議がありましたけれども、やはり予定していた市でもほとんど中止を決めているというような状況もありましたので、そういったものを見ながらということになるかと思っております。

菊池議長 全体的には、9月まで様子を見て、それ以降の状況によるということになりますかね。国内交流の方は平塚もだめだということですね。

事務局 (佐々木課長) そうですね、平塚との交流とかキャンプも例年やっておりましたけれども、関東圏のほうに花巻市民も市役所のほうでも行くのを今控えているという状況もございまして、向こうからもやはり受け入れ、あるいは派遣するのは難しいというふうにはいただいております。

菊池議長 十和田の方はこれからということですね。

事務局 (佐々木課長) できるというところを見ながら、例えばバスで行ってますけれども、バスの密を避けるとか、そういった部分を工夫しながらということで今考えてございます。

菊池議長 それでは、最後のところで資料1-2について何かありますか。

伊藤委員 成果指標がどうなっているか、平成27年度からどう変化しているかを大変興味深く見守っている1人ですが、2、3は、同じような状態なんですけども、1番の現状値、平成27年の36.1から、令和1年、今年はまた始まったばかりですので1%しか上昇してないと。むしろ下がっている年もあるということで、それが他にも共通してますが、特に1の、私はもっと個人的にはですね、もっと広がりを見せるのかなと、いろいろ工夫してるし、各振興センターでも努力してるし、もっと増えるのかなと思ったら予想外の低さなので、この要因は何なのかという点と、それから方向性、今後の改善方法なり、考えてるのであればお知らせをお願いします。

事務局 (佐々木課長) これにつきましては、この数値を見ていただいた中で、確かに平成29年度、30年度というところで、現値から下がってるっていうところがあります。その中でも、令和元年度については、目標値にはちょっと及ばないっていう状況でありましたけれども、上がってきてたなあとということがございまして、色々こちらでも生涯学習ということで、講座も新しくしてみたりとか広報を若干改善してみたりとか、広報について力を入れたりという部分があるので、少しずつ上がっていくんではないかなということ考えてはいたんですけども、コロナのせいになってしまうのもいささか心苦し

いところではあるんですけども、令和2年というのは、今回の4月5月ということでのアンケートでしたので、落ち込みはかなり激しかったという状況ではあります。なので、平成30年度から令和1年度、特に上がってるっていう部分があるので、それについて、色々生涯学習課で講座の内容の見直しをしたりとか、そういった取り組みをした結果なのかなと思いついて、それをさらに進めていきたいというようには一応考えているという状況でございます。

佐藤委員

今の質問と関連する部分だと思いますけれども、この1-2のパーセント、これは市民アンケートの結果ということでよろしいでしょうか。この市民アンケートというのが、年度初め4月5月のあたりにとっているということでもよろしいですか。生涯学習課さんが一生懸命やられていること、まなび学園が取り組んでいること、それからそれぞれの振興センターが本当に地域密着で取り組んでいること、その参加者が、直接回答したアンケートではないですよ。

事務局

(佐々木課長)

はい。

佐藤委員

全く参加していない人たちのアンケートの回答かもしれないということですよ。この数字は私はもう伸びないんじゃないかなと思ってます。生涯学習課が一生懸命やられていること、この講座の数、内容がきちんとこの答えに反映するのはなかなか難しいのかな、すごく悩ましいなと思っています。今第2期計画が終わるので、これから第3期計画をつくらうところなのかなと思いますけれども、PDCAで物事が進むのであれば、Pはこの指標なんだと思います。それに向けて取り組むDがそれぞれの事業なんだと思います。そのために一生懸命事業やってるよ、と。ところが、そのチェックをするのが全然関係のない人がチェックをするという状況なのかなと。評価のところで、アウトプットとアウトカムっていうのがあるのかなと。こんなに事業をやってこんなに参加したよということは生涯学習課のほうで把握してるし、その数字は伸びてくるものだと思いますけれども、その目標の達成度っていう部分については違うところで調査をしているのであれば、それはなかなか直結するものではないのかなということと、この資料の後ろのほうに調査の結果がありますけれども、これとはまた違うんですよ。数字を見たら、現状値36.1%という数字がちょっと見え受けかねたり、指標の2や3の項目を調査の中で見つけかねたので、違うのかなと思ってますけれども、それにしても、調査の回答が60代以上の人が50%ぐらい回答している。48%で回答していると。10代20代の回答者の数が非常に少ないと。そういう回答者のアンバランスの中で、なか

なか難しいのかなと。例えば、日ごろ学習に取り組んでいる市民の割合というところで、生涯学習だ、読書も生涯学習ではないのかな、そういうのが反映されて、日ごろ学習に取り組んでいるっていうふうに、回答されているのかな。うちの息子は高校のときにギターを始めました。全部YouTubeで行いました。今はYouTubeで、いろんなレッスン動画をやっています。それを見ながら、いろんな知識や技能を身につけているというのが、今の若い人たちなのかなと。それも生涯学習なんだと思います。先ほど藤田さんから、今の時代にあったというのが、講座に参加しないと生涯学習ではないとなると、なかなか厳しいのかなと。ですので、やってることに対する評価とするのか。それとも、やってることのみならず全てを網羅したものに対する評価とするのか。その辺のところ曖昧でごちゃごちゃしてるとなかなかこの数字は伸びないのかな、というのが私が見たときの感想でした。これから、第3期の計画を立てるにあたってというところもあると思います。余計なこと言いましたけれども、よろしくお願いします。感想です。

事務局
(佐々木課長)

すいません、ありがとうございます。実は今資料としておつけしてあります生涯学習振興計画の中の14ページが成果指標ということで、このスタートラインの部分でございました。さらに申し上げますと、この後ろにつけました集計表というものにつきましては、例年のアンケートとは違っていて、生涯学習に関する意識調査ということで別途に行っているというものでございます。確かにですね、委員さんがおっしゃられましたとおり、日常生活で取り組んでいる市民の割合っていうのがちょっと曖昧といいますか、こういうものもありますよっていうのを例示もなく、生涯学習にというところでアンケートをしているという状況もございますので、そういった指標の説明とか、そういった部分について少し工夫したほうが、あるいは実態に即したものが出るのかなというふうにも考えますので、そういったところも検討の一つとしていければなと思っております。ありがとうございます。

菊池議長

調査結果なんですけど、これは花巻市独自の項目でやっているものですか。

事務局
(佐々木課長)

これにつきましては、第2期の計画をつくる資料として、別個に平成27年度に市民意識調査ということで行ったものです。成果指標については毎年、まちづくり総合計画等を推進するという意味で、各成果指標についてアンケートでお聞きしているというものであります。

菊池議長

もしやりづらい場合は、内閣府が毎年調査をやってますよね。参考にしてもう一度検討なさってはいかがでしょうか。

- 事務局
(佐々木課長) 参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。
- 菊池議長 他にありますか。それでは、生涯学習振興計画の意識調査の部分については、なければ終わりたいと思います。
- 堀合副議長 それでは、議題の(2)に入ります。
第3期花巻市教育振興基本計画について、事務局お願いいたします。
- 事務局
(佐々木課長) 議題の(2)第3期花巻市教育振興基本計画についてご説明いたします。
生涯学習の振興につきまして、従来は「花巻市生涯学習振興計画」を策定して対応してまいりました。この計画は令和2年度までの計画となっております。本来であれば、その後の新たな「生涯学習振興計画」を策定し、対応していくものでありますが、その施策の構成する要素が、「生涯学習の充実」「青少年の健全育成の推進」「国際交流の推進」と教育振興基本計画に網羅されており、計画が重複する内容となっていることから、今年度に策定を予定しております第3期花巻市教育振興基本計画に統合し、振興を図っていくこととするものであります。
この第3期花巻市教育振興基本計画は、現在その内容について、教育委員会及び市担当課で検討中であります。今後皆さまにお示しできる段階になりましたら、社会教育委員の皆さまにもお諮りしながら、今年度末の策定を目指し進めていくこととなりますので、よろしくをお願いいたします。
- 堀合副議長 それでは第2期の花巻市生涯学習振興計画と、今まで5カ年取り組んできたものが教育振興基本計画と内容が重複しているので、そこを合わせて今策定しているところということで、この内容については改めて皆さんにお示しする予定だという御説明がありましたが、皆さんのほうから何か御質問や御意見ありますでしょうか。
- 菊池議長 議会に提案するものでしょうか。
- 事務局
(佐々木課長) そこもですね、ちょっと検討させてください。申し訳ありません。
- 堀合副議長 それでは、内容がある出来上がったところという提案でしたので、(2)についてはこれでよろしいでしょうか。
- 菊池議長 それでは、続いて(3)の新花巻図書館の整備についてお願いします。

事務局（市
川部長）

図書館の整備につきまして私から御説明をさせていただきたいと思えます。図書館協議会のメンバーの方もおいでですし、その際にもお話しなどしております。社会教育委員会議で引き続きお願いしている方は前回もお話ししている内容でございますが、改めまして新しい委員の方もおいでなので、新しい図書館の整備の概要と、また、最新の状況について、御説明をしたいというのが今日の趣旨でございます。

資料といたしまして本日配りましたオレンジと青の資料で御説明をいたします。1枚めくっていただきまして、新花巻図書館整備のこれまでということでございますが、現在の花巻図書館は昭和48年の開館でありまして、今年で築47年ということでございます。閲覧スペースが2階にありまして、利用しづらいなどの課題がありまして、生涯学習の拠点として、また、市街地再生の核として新しい図書館の整備が求められてきたということでございます。

3ページ目ですが、これまでの経緯です。平成23年の12月に、公共的団体や図書館関係者、公募による皆さんにより「図書館整備市民懇話会」が設置されました。懇話会の会長は、この社会教育委員会議の議長、菊池議長さんがされておられましたが、懇話会が設置されまして、平成24年の10月にワークショップ等を経て、懇話会から図書館への提言という基本的な構想が提出されました。これに基づきまして、平成25年5月には、「花巻中央図書館基本計画」を策定いたしまして、これは花巻厚生病院跡地を整備候補地にしたものでありまして、現在、総合花巻病院の新しい病院ができた場所です。これについては、平成26年の3月に厚生病院跡地から土壌汚染があったと県から発表されまして、土壌の入れかえ等に数年かかるという状況になりまして、結果的に計画の見直し等になり図書館整備が中断したという状況でありました。

1枚めくっていただきましてそのような中で、平成28年に、平成24年の図書館への提言に基づきまして、図書館整備に関する構想を再構築いたしまして、パブリックコメント、また、市民説明会も開催して、平成29年8月には「新花巻図書館整備基本構想」という新花巻図書館整備の根幹となる構想を策定したというような状況でございます。この構想で、建設場所に関する方針としては、立地適正化計画の都市機能誘導区域内と定めており、右の図面の青い部分が立地適正化計画の都市機能誘導区域内です。立地適正化計画というのは、簡単に言えば街なかにもう一度施設を集約しましょうという計画です。その中で、都市機能を誘導する区域というのがこの青い部分、都市機能誘導区域です。この中に図書館をつくりましょうというところまでは定めています。あと、近隣施設との連携、他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討しましょう、候補地を数カ所選定した上で、基本計画、基本計画というのはこの基本構想の次につくる基本的な計画ですが、その基本計画で定めましょうというところまで決めたというものでございます。

基本構想の内容が5ページ以降でございます。平成29年に策定した基本構想は、基本方針が「市民一人ひとりの生活や活動を支援」「子どもの読書活動を支援し豊かな心を育てる」「情報を地域や産業の創造に結びつける施設」「まちや市民に活力と未来をもたらす図書館」、そして、3つの基本方針といたしまして「郷土の歴史と独自性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館」「すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館」「暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館」というふうに定めまして、次のページですが、それぞれ整備方針として、施設に関することとしては、ユニバーサルデザイン、十分なスペース、先人や郷土資料スペース、子どもスペース、防災、防犯、環境への配慮、必要な駐車スペース、施設の併設等検討。蔵書資料に関することとしましては、広い分野の収集、先人や郷土資料の充実、視聴覚資料や電子資料活用。運営に関することといたしましては、利用しやすい開館時間、利用者の視点、図書館ボランティアと協働、職員体制の充実。サービスに関しましては、レファレンスサービス、相談・支援の充実、中央図書館としての機能、情報発信強化、新たなシステムへの対応。このような、方針として大きな部分を決めたのがこの基本構想です。

7ページです。先ほども申し上げましたが、建設場所に関しては、立地適正化計画の都市機能誘導区域内に整備、近隣施設との連携、他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討する。候補地を複数箇所選定した上で基本計画において場所を定めると。また事業費に関しましては、可能な限りコストを削減する、建設後の運営費も考慮する、図書購入費、職員体制にかかる経費も考慮する、というところを定めたのが基本構想でございます。

整備候補地の検討をした経緯について説明をいたします。次からその整備候補地の説明ということになります。10ページ目になりますけども、新花巻図書館の整備候補地は大きく分けまして、まなび学園周辺の区域と花巻駅周辺のうちに5カ所を検討しております。都市機能誘導区域内に整備するという理由は、国の補助金が得られるという要素もございます。この都市機能誘導区域の中の5カ所、まとまった土地ということで定めているのが5カ所です。大きく分けまして2つですが、まなび学園の周辺、①②③と書いてますが、①が営林署があった場所です。現在駐車場になっています。まなび学園の体育館の南側です。②はまなび学園の前で、まなび学園の現在の駐車場のあたり、③は総合花巻病院が移転しましたが、まだ建物はありますが、建物がなくなった場所という想定です。花巻駅の周辺につきましては、JRの用地ではありますが、⑤スポーツ用品店がある場所、⑥花巻駅南駐車場、なはんプラザの東側の駐車場です。南駐車場と言いますけれども、東側の駐車場を検討した経過でございます。整備期間や経費についても概算ですがそれぞれで示しております。

11ページは、まなび学園周辺①②③における共通の利点と課題というこ

とでありまして、利点といたしましては、市有地が活用できるということ
であります。また、まなび学園との連携などでイベント等ができるという
ものであります。課題といたしましては、駅までの距離やバスの交通網が
課題でありまして、あともう1つ大きいのが、まなび学園の前の道路がご
ざいですが、南側の道路です。ここは、一部歩道がありますけれども、歩
道が狭い箇所や、歩道がない箇所が多くなっておりまして、ここを歩道整
備したり、あと幸橋という橋がありますが、昔軽便鉄道が通っていた場所
ですけれども、その橋両側には歩道がございません。子供たちとか車もそう
ですが、橋を架けたり道路をつくったりするのは約9億5千万の経費がか
かるということでありまして、病院の跡地が、建物を壊してみないとわ
からないところもありますが、高低差が10メートルぐらいありまして、全
体として平坦な場所ではなく土を盛ったりすると、少し雨が降ったりす
ると沈下の可能性など、また解体工事の状況にもよりますが、時間がかか
る可能性もあり、課題が多い場所であります。

1枚めくっていただきまして12ページからは、具体的な場所として、①
営林署跡地、こののメリットデメリットというような形で書いています。
12ページは、営林署跡地、14ページは②まなび学園の前、16ページは③花
巻病院の跡地ということですが、12ページをまずご覧いただきたい
と思います。全部に共通するんですが、図書館の大きさは今4500㎡の建
物を想定しております。まずその大きさと駐車場は180台を想定して、それ
が土地に入るかどうかを計算したものでございます。12ページの営林署跡
地、建物として1512㎡と書いてますが、左側のオレンジのラインがありま
す。これは、この道路と崖地になってまして、建物を建てる上で安定し
た地盤を得るにはこれだけバックしなければいけないというのがこのオレ
ンジのラインになっています。このオレンジを避けて土地を取ると1512㎡
しかとれないと。そうすると三階建てになってしまうというような説明で
ありますし、そのほかに180台、現状の駐車場よりも取るにはどうしたら
いかというのが書かれているのがこの12ページからの資料であります。営
林署跡地では、駐車場が遠くなる課題があります。

14ページをご覧いただきたいのですが、14ページはまなび学園の南側に
建てた場合です。現在駐車場として使っているスペースは広いので、2268
㎡くらい取ったとすると、この場所だったら2階建てでできるというこ
とであります。ただ日照の問題、将来の土地利用等課題はございます。

16ページは旧花巻病院の場所なんですが、ここも1番平らなところを探
すと、奥のほうの1764㎡ぐらいしかとれないと今の想定では考えてまして、
そこに建てた場合を計算しています。ここでも駐車場不足の課題がありま
す。

次に行きます。19ページをお願いします。19ページは花巻駅周辺の共通
の利点と課題です。駅前の利点としては、1番は道路が整備されていて広
い歩道があります。あと、融雪の道路になっておりますので、車でも行き

やすいという点があります。あとバスとか交通網の拠点にはなっているところ、賑わいとして高校生の利用など駅を利用する人たちに利用されると考えています。補助金についても、まちづくりの観点から高い評価が得られると考えています。課題としては、立体駐車場を整備しなければいけないという点がございます。

20ページは④JRの用地で、スポーツ用品店の敷地に建てた場合という想定です。これのメリットは駅に近い場所に建てられ、2階建てでできること、また、駐車場も今のなはんプラザ東側の駐車場をそのまま駐車場として使えるというものでございます。ただ、ここはJRの用地なために、今の段階ではJR東日本からは、土地は50年間の定期借地で貸すことで協力はできますと言われてるものです。

22ページ23ページです。これは⑤駐車場に建てた場合です。メリットとしては、ここは市有地ではありますが、逆に、現在駐車場として使われているものですから、ここに建てるとその分の駐車台数がなくなるというような課題がございまして、駐車場が不足するのと、施設自体も3階立てとなると計算しており、広場についても閉鎖的になるのではないかと、課題があります。

24ページです。複合施設として整備する案を公表というふうに書いておりますが、今年の1月に「新花巻図書館複合施設整備構想」として公表いたしました。これは、JR東日本が所有する土地を賃貸で協力できるという回答があって、その場所を借りて建設方法を検討した結果、複合施設、つまり図書館のほかに民間が運営する賃貸住宅とテナントを一緒に入れたビル、そしてなはんプラザの北側の広場も整備する、また、駐車場も立体化をする、という案を1月に市議会に説明し公表したというものでございます。ただ市議会からは、少し唐突だというような意見がありまして、市議会では図書館整備特別委員会を設置しまして、市議会でも少し検討したいというようなことで、ただいま検討をしているというような状況であります。

次の新花巻図書館整備のこれからということですが、今年度、それでは何をするのかということなんですが、先ほどお話ししました平成29年度につくりました基本構想、そこまでは定めておりますので、それに基づきましたもっと具体化した計画、「新花巻図書館整備基本計画」というものをつくってまいります。これについて、建設場所も含めレイアウトとか、蔵書数、サービスとかの内容を深めまして、今年度、それを策定するということをしていきたいと思っております。

もう1枚めくっていただきまして、27ページでありますけれども、現在、7月25日に1回開催しまして、新聞にも載っておりますが、ワークショップというのを開催しております。高校生と20代の皆さん、これから図書館を使うような若い人たちの意見を聞くべきだという話が多数ありますので、その方々からまず意見を聞いてみようということでワークショップを

開催しております。ワークショップのアイデア等を含めながら、基本計画をつくっていききたいと思っていますし、8月末からは、一般の公募の人もあわせたワークショップを開催して、また、市民の皆様からの意見を聞きながら、基本計画という具体的な計画をつくっていききたいと考えている状況であります。説明といたしましては以上でございます。

菊池議長

それではですね、今部長のほうから説明がありましたけれども、これに対して、質問あるいは意見がありましたらお願いします。

菊池委員

前回の委員会的时候に、これが事業構想ということで1枚物で出されました。市の出資するまちづくり会社とSPCとでやるということまでも決まってきたということで、基本設計まで行くような話だったので、そこは早いなと思って聞いていて、そのときもちょっと御質問させていただいたんですが、実際今度ワークショップから始めて、次は一般公募となると、前のものは全部頓挫になってということなんですか。それとも、これを前提にということでしょうか、というのが1つです。それからもう1つは、議会のほうで唐突だということで、承認されなかったということがあるんですが、実際はどのようなことが承認されなかった大きな理由なのですか。2つお願いします。

事務局（市川部長）

24ページで示しました新花巻図書館複合施設整備構想については社会教育委員会議の皆様にも御説明いたしました。これは決まったというものではなくて、これから皆さんの御意見を聞いていきますというものを市議会議員の皆様、そして図書館協議会の皆様、そして社会教育委員の皆さんに御説明したというような状況でした。ですので、これを含めまして、今年、基本計画を具体的に決めていきたいというものであります。それで、議会の皆さんから言われたのは、市議会では、1年前から図書館の建設場所につきましては、市のほうでも駅前を候補地としたいというようなことは言っておりまして、JRの所有の場所も候補地としたいという話はしておりました。昨年末の段階で、JRの土地を借りるという返答があったということもお話していたと思うのですが、1番大きいのはテナントなどですね、複合施設としてカフェなんかも求められていたんですけども、賃貸の住宅というのが、なかなか、あまりケースとしてこの辺にはないので、そこにひっかかりがあったのではないかと私は思いますが、都会では上に賃貸とかマンションとかが載っている図書館はございます。山形県の酒田市では、上ではないですが隣に賃貸住宅を建てて一体化して、上にはホテルがついてるような図書館を現在整備しています。図書館とホテルがくっついた建物のような例もございまして、酒田市は10万人ぐらいの都市で、石川県でもホテルが上に載ったような例などもございまして、いろんなケースについて、市民の皆さんの意見を聞きながらやっていきたいと考えてお

ります。議会の皆さんも、市民の皆さんの意見を聞きたいと考えているようですので、議会とも連携をしながらきちんとやっていきたいと考えております。

菊池議長 他、ございますか。

佐藤委員 今、複合のお話がありました。岩手県内でもオガールですとか、矢巾ですとか、新しい図書館もできて、注目を浴びることは、それはそれでいいのかなと思ひ、今みたいな複合の施設があるというのも人が集まりやすいっていうのもあるんだろうなと思うのもありますし、高校生や20代のワークショップもとてもいい取り組みだなと思っております。読書に関心を持たせるですとか、まちづくりに若い人たちが意見を持ち寄るっていうことはとてもいいことだなと思っておりますけれども、やはり図書館をつくるというところは、やっぱり崩さないほうがいいだろうな。今現在、花巻には図書館がございますので、やっぱり図書館の専門職の意見、館長の意見、そういった部分はやっぱり尊重していかないと、一体図書館をつくったのか何をつくったのかわからないよねとならないようにというところだけお願いできればなというふうに思います。

事務局（市川部長） 図書館整備につきましてはですね、図書館長と司書も含めながら、いろんな意見も聞いていますし、これも富士大学の御協力をいただいております。図書館学の早川先生をアドバイザーとして、ワークショップでも講演として、子どもたちに話をしてもらったりしておりますので、そこはしっかりしていきたいと思っております。

菊池議長 私も、以前市民懇話会で構想をまとめたものですから、ちょっと複雑な思いで今いるんですが、もうあれから8年ですか、もうそろそろ市民も待っています。何とか話をうまくまとめて進めてもらいたいなと思います。それからまた、ぐちゃぐちゃしてあと10年待てというのではとても大変ですので、生涯学習の面からいっても重要な拠点ですので、きちんと整備していただいて、そして市民の使いやすい、親しみやすい図書館をぜひつくってほしいなと思っております。基本的には、我々が話した基本的事項はこの中に含んでいただいておりますので、あと問題は、場所をどこにするかっていうのが今最大の課題かなと思っております。1番利用し勝手がいい、あるいは市民がもっといろんな活用ができるという、そういった視点で考えながら進めてもらえればいいのかと思います。余計な政策とか言わないですね、早く市民のためというところに力点を置いて進めていただければありがたいなというふうに思います。ちょっと勝手なことを言いましたので、さて、それでは、図書館についてはよろしいですか。

では次、その他について事務局から。

事務局（小原補佐）

私のほうから、今日資料としてお配りしておりますこちらのパンフレットの内容について御説明したいと思います。

こちらは、県教委が発行しております資料で、地域と学校がパートナーとなって子どもの成長を支えるコミュニティースクールのあらましということで、これは、教育委員会の学校教育課より情報提供として本日委員の皆様にお配りしております。花巻市の教育委員会では、開かれた学校づくりを推進するために、教育委員会から委嘱された保護者や地域の住民が、校長の求めに応じて意見を述べるのみだった学校評議員制度から、権限と責任を持って、学校運営の参画が保障された仕組みである学校運営協議会制度へ移行する取り組みを進めております。こちらの学校運営協議会が設置された学校のことをコミュニティースクールといいます。学校運営協議会は、学校運営について、意思決定を行う合議制の機関となっています。この学校運営協議会制度の導入に向けて、現在、設置規則の策定に取り組むとともに、地域と学校が協働した活動を工夫推進しているモデル校において、学校運営協議会の設置に向けて構想をいただいているところです。岩手で独自に進められてきた教育振興運動があるんですけども、こちらは、地域と学校が共同した活動であり、合議制の機関である、この学校運営協議会と密接に連動する関係にあります。こちらの詳細につきましては、今お配りしてありますが、こちらの発行したパンフレットに詳しく載っておりますので、後ほどお目通し願いたいと思います。学校運営協議会の制度の導入は、子どもたちをよりよくしていくための応援団づくりになります。パンフレットに目を通していただいて、御理解をいただきたいと存じます。以上です。

菊池議長

学校評議員制度から、これは直ちに変わっていくというような説明でした。学校評議員制度も、まだやってないこともありますよね。盛岡市がやってない。そういう実態もありますので、いろいろと学校としては悩ましいところもあるかもしれませんが、こういった方向にこれからはいくだろうということで、地域として学校をどうするかということで、今度は地域を責任持って取り組むということになるろうかと思えます。見ていただいて、ということだけですね。

事務局（小原補佐）

はい。

事務局（佐々木課長）

もし、御意見等ありましたら学校教育課のほうで推進しているということでございますので、お問い合わせ等も先生のほうで受けるということになってございます。よろしく願いいたします。

菊池議長 それでは、学校教育課のほうに、もし、疑問な点があったら、問い合わせてくださいということです。

 これで、議題として挙げられたのはここまでですが、他ありませんか。それでは、本日の議題は全部が終了しました。ありがとうございました。

6 その他

事務局（小原補佐） ありがとうございました。それでは6番のその他に移ります。皆様から何かございますでしょうか。

委員一同 （発言するものなし）

事務局（小原補佐） ないようですので、閉会の前に部長より一言御挨拶いたします。

事務局（市川部長） （部長より御礼のあいさつ）

7 閉会 （閉会 午後4時00分）